

## 令和元年上尾市教育委員会 7月定例会 会議録

- 1 日 時 令和元年7月18日(木曜日)  
開会 午前9時30分  
閉会 午前10時33分
- 2 場 所 上尾市役所 教育委員室
- 3 出席委員 教育長 池野和己  
教育長職務代理者 細野宏道  
委員 中野住衣  
委員 大塚崇行  
委員 内田みどり  
委員 小池智司
- 4 出席職員 教育総務部長 小林克哉  
学校教育部長 伊藤潔  
学校教育部参事 兼 学校教育部次長 関孝夫  
教育総務部次長 西嶋秋人  
学校教育部副参事 兼 学務課長 瀧沢葉子  
学校教育部副参事 兼 指導課長 兼 教育センター所長 太田光登  
教育総務部 教育総務課長 森泉洋二  
教育総務部 生涯学習課長 小宮山克巳  
教育総務部 図書館長 島田栄一  
教育総務部 スポーツ振興課長 柳川忠明  
学校教育部 学校保健課長 荒井正美  
学校教育部 中学校給食共同調理場所長 戸國健一  
書記 教育総務課主幹 山内和徳  
教育総務課副主幹 上山英樹  
教育総務課主査 鳥丸美鈴  
教育総務課主任 井上建一
- 5 傍聴人 4人

## 6 日程及び審議結果

**日程第1 開会の宣告**

**日程第2 6月定例会会議録の承認**

**日程第3 会議録署名委員の指名**

**日程第4 議案の審議**

議案第36号 上尾市図書館協議会委員の任命について

**日程第5 報告事項**

報告事項1 令和元年上尾市議会6月定例会について

報告事項2 令和元年度学校総合体育大会上尾市予選会の結果について

報告事項3 令和元年6月 いじめに関する状況について

報告事項4 小・中学校一斉避難訓練の結果報告について

報告事項5 平成30年度上尾市学校安全パトロールカー事業運行実績について

**日程第6 今後の日程報告**

**日程第7 閉会の宣告**

## 7 会議録

### 日程第1 開会の宣告

(池野和己 教育長) ただ今から、令和元年上尾市教育委員会7月定例会を開会いたします。本日、傍聴の申出はございますか。

(森泉洋二 教育総務課長) 4名の方から傍聴の申出がございます。教育長の許可をお願いします。

(池野和己 教育長) 傍聴を許可します。ご案内をお願いします。

～傍聴人入場～

(池野和己 教育長) それでは、日程に従いまして、会議を進めます。

### 日程第2 6月定例会会議録の承認

(池野和己 教育長) 「日程第2 6月定例会会議録の承認」についてでございます。6月定例会の会議録につきましては、すでにお配りをし、確認していただいておりますが、修正等がございましたら、ここでお伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

～委員全員から「なし」の声～

(池野和己 教育長) それでは、承認することにご異議ございませんか。

～委員全員から「異議なし」の声～

(池野和己 教育長) 異議ないものと認め、6月定例会については中野委員にご署名をいただき、会議録といたします。

### 日程第3 会議録署名委員の指名

(池野和己 教育長) 続きまして、「日程第3 本定例会の会議録署名委員の指名」を行います。会議録署名委員は、大塚委員をお願いいたします。

(大塚崇行 委員) はい。

### 日程第4 議案の審議

(池野和己 教育長) 続いて、「日程第4 議案の審議」に入ります。本日本日予定しております議案は1件でございます。「議案第36号 上尾市図書館協議会委員の任命について」説明をお願いします。

(小林克哉 教育総務部長) 議案第36号につきましては、島田図書館長が説明申し上げます。

### ○議案第36号 上尾市図書館協議会委員の任命について

(島田栄一 図書館長) 恐れ入りますが、議案書の1ページ、2ページをお願いします。「議案第36号 上尾市図書館協議会委員の任命について」でございます。提案理由でございますが、上尾市図書館協議会委員の任期が令和元年7月31日で満了することから、上尾市図書館協議会条例第2条第2項の規定により、議案の一覧表のとおり、任命したいので、この案を提出するものでございます。この協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関として設置されております。委員の任期は2年で、令和3年7月31日まででございます。なお、1号委員は「学校教育及び社会教育の関係者」、2号委員は「家庭教育の向上に資する活動を行う者」、3号委員は学識経験のある者からお願いしてございます。今年度は、「上尾市図書館の基本的な方針となる在り方について」諮問を行う予定でございます。説明は以上です。

(池野和己 教育長) ただ今、議案第36号について説明をいただきました。質疑、意見等がございましたらお願いいたします。

～委員全員から「なし」の声～

(池野和己 教育長) よろしいでしょうか。それでは、質疑、意見等がないようですので、これより採決いたします。「議案第36号 上尾市図書館協議会委員の任命について」原案どおり可決することにご異議ございませんか。

～委員全員から「異議なし」の声～

(池野和己 教育長) 異議がないものと認め、原案どおり可決いたしました。

### 日程第5 報告事項

(池野和己 教育長) 続いて、「日程第5 報告事項」に移りたいと思います。本日予定しております報告事項は5件ございます。それでは報告についてお願いいたします。

(小林克哉 教育総務部長) 「報告事項1 令和元年上尾市議会6月定例会について」は、全体概要を関学校教育部参事兼次長が、一般質問につきましては両部の部長よりご報告申し上げます。

### ○報告事項1 令和元年上尾市議会6月定例会について

(関孝夫 学校教育部次長) それでは報告事項資料1ページをお開きください。「報告事項1 令和元年上尾市議会6月定例会について」ご報告申し上げます。会期につきましては、6月7日から6月27日までの21日間で開催されました。市長提出議案のうち教育関連議案は1件であります。議案第10号「上尾市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例の制定」についてでございましたが、全会一致で原案可決されております。議案については以上です。

(小林克哉 教育総務部長) 別冊の「令和元年上尾市議会6月定例会 市政に対する一般質問 答弁要旨」のご用意をお願いいたします。教育総務部関連では、7人から質問がありました。1ページをお

願いたします。深山孝議員から、「公共施設マネジメントについて」の中で、新図書館複合施設予定地であった上平の土地は、暫定整備ということから防球ネットやフェンス等はないが、利用に際し、どのようなルールを作り安全を確保するのかについて、また、周知方法や管理体制について質問がありました。この広場では、安全対策として、グラウンド・ゴルフのボールなどが広場の外に飛び出さないよう、外周の高さ約1メートルの単管パイプ柵にメッシュシートを張る予定であること、グラウンド・ゴルフのほか、ゲートボール、ペタンクなどのスポーツ、また、地域や子供会などのイベントでの利用を想定しており、野球やサッカー、ゴルフなど、ボールが外周の柵の上を越えて広場の外に出る恐れのあるスポーツのほか、ペットの入場、花火やバーベキューなど、火を使う行為は、遠慮いただく方向で考えていること。今後は、このような考え方を基本として、近接する上平公園の多目的広場の利用状況等を参考にしながら、さらに詳細を詰めていくことなどを答弁しました。3ページをお願いいたします。星野良行議員から、東京2020オリンピック聖火リレーについての質問がありました。聖火リレーは、埼玉県内では7月7日から9日までの3日間行われ、上尾市は、3日目の最終到着地である、さいたま市のひとつ手前の通過地となること、聖火リレーの開催にあたり、安全確保に向けて、各種市民団体の協力を仰ぎ、万全の準備を整える一方、聖火リレーが上尾市民の皆様の記憶に残るような素晴らしいものになるよう、市一丸となって進めていくと答弁をしました。5ページをお願いします。池野耕司議員から、室内50mプール誘致状況について、質問がありました。一番下の●ですが、上尾市は、県内各地、県外からのアクセスも良く交通の利便性が高いと考えていること、東京オリンピック・パラリンピックまで約一年となり、日を追うごとにスポーツへの関心が高まっており、この機運を更に高め、「スポーツで市民が元気になる街」を推進するため、今後も、県内初となる屋内50mプールの誘致に向け、引き続き、埼玉県へ働きかけていくと市長が答弁しました。8ページ一番下の●をお願いします。新井金作議員から「教育問題について」の中で、学校施設整備の基準等について質問がありました。児童生徒の安心、安全な教育環境の確保を念頭に、校舎外壁のひび割れや雨漏りなど緊急性や安全性、衛生面を優先とし、各学校と協議しながら、整備を進めており、修繕については毎年学校を訪問し、聞き取り調査を行っていることと答弁しました。12ページ上から2つ目の●をお願いします。戸口佐一議員から「小中学校の給食について」の中で、小学校の調理場にエアコンの設置計画はあるかとの質問がありました。設置は学校施設整備の中で進めており、給食調理室についても、学校施設整備全体の中で検討すべきものと考えていることと答弁しました。次に、平田通子議員から、「瓦葺・尾山台地域への公民館整備で、市民活動の支援を」と題し、質問がありました。13ページのひとつ目の●ですが、公民館に社会教育主事を増やすことが必要と考えるが見解は、との問いに、生涯学習を推進するコーディネーターとしての役割を担う社会教育主事を増やすことは必要であり、そのため、職員を社会教育主事講習に派遣し、資格取得に努めていることと答弁しました。また、3つ目の●ですが、人口が増えている瓦葺・尾山台地域で生涯学習の参加の機会が少ないと考えるが見解はとの質問がありました。原市地区には原市公民館や原市集会所があり、地域との交流を目指し、さまざまな主催事業を実施しており、多くの市民サークルの活動場所としてご利用いただいていること、また、原市地区の瓦葺・尾山台地域には図書館瓦葺分館の集会室があり、月2回幼児向けの読み聞かせを行うほか、生涯学習の場としてもご利用いただいていることと答弁しました。16ページの上から5つ目の●をお願いします。斎藤哲雄議員から「上尾市の学校教育について」の中で、学校施設に太陽光発電システムを設置する予定はあるかとの質問がありました。環境教育教材としての活用機会の頻度、災害時における活用の余地、電力買取価格や導入コストなどの費用面等を踏まえ、建物更新の際に、検討すべきものと考えていることと答弁しました。教育総務部関連は以上でございます。

(伊藤潔 学校教育部長) 学校教育部に關係する一般質問は、11名の議員から頂きました。資料の1ページを、お願いいたします。深山議員から、コミュニティ・スクールについてご質問をいただきました。コミュニティ・スクールは、学校運営協議会委員が一定の権限と責任を持って学校運営に参画し、校長や教職員と一体となって学校づくりを進めるための仕組みであること、会議の議長は、委員の互選によって選出された会長が務め、会長が協議内容を取りまとめること、上尾市教育委員会として、PTAや学校応援団などによる学校支援活動の充実、地域ぐるみでの教育の推進、小中連携の強化などを一層進め、上尾市の実情を踏まえたコミュニティ・スクールとなるよう支援してまいりたい旨答弁いたしました。また同議員から、児童生徒のSNS利用実態について、ご質問をいただきました。各学校では、パソコン教室のパソコンに導入されている「モラル学習ソフト」を活用し、ルールやマナーを学ぶ授業を実施しており、小学校高学年や中学生を対象に「スマホ・ケータイ安全教室」を毎年開催していることを答弁いたしました。2ページを、お願いいたします。前島議員から、事件・事故から子供を守る対策についてご質問をいただきました。川崎市での事件発生を受け、各学校に対し、当日の夕刻に、登下校時や外出時における安全指導について、翌日の朝には、校門の常時閉鎖について、それぞれ通知した旨を答弁いたしました。また、教育委員会では、「登下校防犯プラン」に基づき、9校の小学校を選択し、通学路の合同点検及び安全対策についての協議を行い、危険箇所の共有や見守り体制の強化を図ったこと、今年度は、全小学校に対し、通学路の重点パトロール箇所を示したパトロールマップの作成を依頼しており、今後このマップを活用し、効率的で効果的なパトロールを実施してまいりたい旨答弁いたしました。3ページを、お願いいたします。橋北議員から、中学校の自転車通学の実態についてご質問をいただきました。11校中7校が自転車通学を認めており、自転車通学者数は約430名で、7校全ての学校でヘルメットの着用を義務付けていること、また、部活動での自転車を使って移動するときのヘルメットの使用については、現在、着用の徹底を図っているところである旨答弁いたしました。4ページを、お願いいたします。戸野部議員から、外国人住民の子供への教育支援についてご質問をいただきました。本市の外国人児童生徒数は、小学生108名、中学生42名であること、新入学時においては、日本国籍の子供と同様に通知をしていること、経済的理由により就学が困難な場合には、国籍に関わらず就学援助の申請が可能であり、また、日本語の理解が困難な児童生徒については、在籍する学校からの申請に基づき、日本語指導職員を派遣していることを答弁いたしました。6ページを、お願いいたします。海老原議員から、子供政策についてご質問をいただきました。特別支援学級の設置について、当該児童生徒の人数にかかわらず、障害の状態、支援の内容、専門的な指導者の育成や施設設備の十分な整備など、さまざまな事情を総合的に判断して設置していることを答弁いたしました。また、学校給食における県内産の食材は、全体の概ね2割を占めており、上尾市産の食材については、市内農家が生産したトマトを食材として使用したり、給食月間に、上尾産のお米を全校で取り入れたりしていることを答弁いたしました。同議員から、外国人市民の支援についてご質問をいただき、外国人の子どもの入学及び編入においては、教育委員会及び学校が、児童生徒及び保護者と十分に話し合う機会を設けるなど丁寧な対応に努めていること、外国人に関わる問題を人権課題の1つと位置付け、各学校において人権教育研修に取り組んでいることを答弁いたしました。7ページを、お願いいたします。小川議員から、口腔保健についてご質問をいただきました。フッ化物洗口に取り組む学校について、現在は、小学校9校、中学校1校で実施しており、増加していること、集団での実施を推奨している、国のガイドラインや埼玉県歯科医師会などの意見を踏まえ、教育委員会として、取り組みの充実に向けた研究を引き続き行っている旨答弁いたしました。同ページ、新井議員から、いじめ問題と不登校についてご質問をいただきました。過去5年間のいじめ認知件数について、大きく増加しているが、これは各学校が、早期発見、早期対応することで、いじめを見逃すことがないように取り組んだことによるものであること、また、

最近の傾向として、スマートフォンなどを利用したSNS上のいじめが増加していることを答弁いたしました。また、不登校児童生徒に対する対策については、新たな不登校児童生徒を生まないための未然防止対策として、教育センターと学校間の情報共有、小・中学校間の綿密な引継ぎ、さらに中学校に配置されているスクールカウンセラー及びさわやか相談員による小学校での相談を行っていることなどを答弁しました。9ページを、お願いいたします。戸口議員から、小中学校の給食について何点かご質問をいただきました。まず、無償化を含む負担軽減について、無償にした場合の年間費用は、小学校が、年間約4億9,000万円、中学校が約2億9,600万円であること、学校給食に係る全体経費の中で、食材費のみを保護者負担と考えており、経済的な支援が必要となる家庭については、就学支援制度等の施策を講じてきている旨を答弁いたしました。次に、公会計化への移行については、会計管理システムの導入や担当職員の配置、会計処理方法の整備等の課題があること、今後、文部科学省からのガイドラインの公表を踏まえ、研究してまいる旨を答弁いたしました。次に、食べ残し対策について、各学校では、毎日、残菜量を把握し、適正な配食、献立、調理についての検証を行っていること、学級担任や栄養教諭等を中心に、食べ残しを減らす様々な取り組みを行っていることを答弁いたしました。市内の食物アレルギー対応児童生徒については、どの学校にも在籍しており、その数は増加傾向にあること、医師の作成した管理指導表を提出している小学生が298人、中学生が60人となっていることを答弁しました。14ページを、お願いいたします。斎藤議員から、学校教育について何点かご質問をいただきました。まず、市内の子どもの体力の現状について、新体力テストの結果、県が掲げている目標を小・中学校いずれも上回っていること、各学校では、授業の中で運動量を確保した展開の工夫をしている旨を答弁いたしました。また、コミュニティ・スクールについて、子供たちにとっての魅力はどんなことがあるのかとの質問に対し、地域の力を生かした教育活動が実施され、子供たちの学びが充実し、地域への愛着が芽生え、地域の担い手としての自覚が育まれることが挙げられると答弁いたしました。また、教職員の働き方改革について、各学校においては、学校行事や会議を精選したり、ICT機器を活用して校務を効率化したりするなど、業務改善に努めていること、教育委員会としては、アップスマイルサポーター、スクールサポートスタッフなどの支援員の配置や、学校閉庁日の設定などにより、負担軽減を図っている旨を答弁いたしました。16ページを、お願いいたします。池田議員から、通学路についてご質問をいただき、コミュニティ・スクールは、学校と保護者、地域が一体となって、学校の様々な課題について協議できる場であることから、地域の実情に合わせて交通安全等の議論が、深まることが期待される旨を答弁いたしました。17ページを、お願いいたします。糟谷議員から、外国人児童生徒の対応についてご質問をいただきました。まず、教育委員会では、就学の申し出があった場合には、住所地の指定校に就学できるよう案内をしていること、各学校においては、当該児童生徒や保護者との面談を通して、言語環境や保護者の意向などを踏まえ、学校生活や授業において支援が必要であるかについて校長が判断しており、校長からの申請に基づいて、教育委員会が日本語指導職員を配置している旨を答弁いたしました。また、学級担任と日本語指導職員が連携を図ることや、全教職員が、当該児童生徒への支援の在り方について知識・理解を深めるなど、全教職員で取り組む体制をつくるのが大切であると答弁いたしました。学校教育部に係る一般質問は以上でございます。

(伊藤潔 学校教育部長) 「報告事項2 令和元年度学校総合体育大会上尾市予選会の結果について」と「報告事項3 令和元年6月 いじめに関する状況について」は太田副参事兼指導課長が、「報告事項4 小・中学校一斉避難訓練の結果報告について」と「報告事項5 平成30年度上尾市学校安全パトロールカー事業運行実績について」は荒井学校保健課長が報告いたします。

## ○報告事項2 令和元年度学校総合体育大会上尾市予選会の結果について

(太田光登 指導課長) それでは2ページをお開きください。「報告事項2 令和元年度学校総合体育大会上尾市予選会の結果について」別紙のとおり報告いたします。お手数ですが別紙をお手元にご用意ください。1枚目は、表紙が団体競技、裏面が、個人競技の結果でございます。2枚目は、「通信陸上競技大会」の結果でございます。上の部分が男子、下の部分が女子となっております。一番下の※印にありますとおり、男子800mの大石中 末廣くんと女子800m大谷中 奥山さんの二名の全国大会出場が決まっております。

## ○報告事項3 令和元年6月 いじめに関する状況について

(太田光登 指導課長) 続きまして「報告事項3 令和元年度6月上尾市小・中学校いじめに関する状況について」でございます。資料に戻りまして4ページをご覧ください。新規認知は、小学校11件、中学校9件、解消は小学校4件、中学校3件、解消に向けて取組中が小学校66件、中学校46件となっております。以上でございます。

## ○報告事項4 小・中学校一斉避難訓練の結果報告について

(荒井正美 学校保健課長) 恐れ入ります5ページをお願いいたします。「報告事項4 小・中学校一斉避難訓練の結果報告について」説明をさせていただきます。今年度の小中学校一斉避難訓練につきましては、5月21日に実施をいたしました。項目1の概況にありますように、この日は朝から雨が降っており、正午過ぎから、短時間のうちに天候が急変し、大雨警報が発令され、また、河川氾濫、浸水等の恐れが生じたため、訓練開始直前でしたが、急遽、引き渡し訓練の中止の措置をとらせていただきました。このことにより、各学校は、集団下校を行うこととなりましたが、急な中止となりましたので、指示伝達や学校現場が混乱し、また、一部の学校によっては、既に保護者が引き取りに来られている学校もあり、結果的に各校、実態に合わせた対応となったものでございます。項目2、3につきましては、6ページの資料1の結果に基づき、参加児童生徒数及び区長等参加者数、訓練報告平均時刻を取りまとめたものでございます。各学校、集団下校となったところもあれば、引き渡しを行ったところもあり、各校さまざまな状況でございまして、過去の訓練と単純比較ができない状況でございます。また、東側の小学校におきましては、訓練全体の中止との伝達を行った関係で、対応時刻の報告はございません。次に項目4の成果と課題でございます。まず(1)の成果ですが、児童生徒や教職員の防災意識の向上や避難行動手順の確認ができました。特に、今回、雨天での避難となりましたので、体育館や廊下、教室等、各校の実態に応じた場所での引渡しができ、教職員・保護者・児童生徒ともに、校内での引渡しについて、共通理解を図ることができました。また、避難所の開設訓練も雨天により、各校さまざまな対応となりましたが、改めて防災倉庫の確認ですとか、避難所開設時の手順などの確認、情報共有を図ることができました。一方、課題といたしましては、(2)にありますように、天気予報では、事前に大雨の予報があった中で、当日、刻々と気象状況が変化しており、そのような状況の中での訓練実施の可否判断がまずは、課題となるものと考えております。また、避難所開設訓練では、引き渡し訓練の急な中止の影響もあったのか、開設訓練に十分時間を割けない、しっかりと時間をとってほしいとの声もございました。項目5の今後の検討事項でございますが、まずは、具体的な降雨量や気象状況に基づく、訓練中止等の判断基準を設けたり、伝達方法のマニュアル化などを検討していく必要があると考えております。また、避難所開設訓練は、今年度、取り組み2年目となり、訓練内容も充実したものになってきておりますので、各学校と地域、市職員がしっかりと連携していけるよう事前の準備も含め、取り組みを進めてまいります。なお、この一斉



避難訓練につきましては、地震発生時には、子供達は原則、学校に留め置きが基本であるため、学校にしばらく、一定時間、留め置く場合の訓練や、その後の留め置いた後の対応の訓練など、本来の実態に合わせた訓練を考えていくことも必要があると考えておりますので、今回の成果と課題も含めて訓練自体の在り方について、研究を進めてまいります。報告事項4については、以上でございます。

#### ○報告事項5 平成30年度上尾市学校安全パトロールカー事業運行実績について

(荒井正美 学校保健課長) 続きまして、10ページをお願いいたします。

「報告事項5 平成30年度上尾市学校安全パトロールカー事業運行実績について」でございます。平成19年度からスタートいたしました本事業は、地域の防犯ボランティアの皆様やPTAの皆様などの協力により、児童生徒の安全を初め、地域の防犯に大きな役割を果たしているところでございます。まず、項目1の「運行実績」でございます。詳細は、表のとおりでございますが、それぞれ1台、月平均で見ますと、運行回数は、14.2回、距離は16.4km、時間は1時間7分であり、いずれの項目も前年度と比較しまして、若干の増加傾向にあります。項目2の「月別グラフ」につきましては、年度を通して例年実績と、同様の推移となっております。また、お手元の資料にはございませんが、参考として、ご報告させていただきますと、青色回転燈を点灯するために必要な「実施者証取得者」につきましては、平成30年度末現在で、1,088名となっており、本年度の講習会2回の受講者444名を加え1,532名となります。また、児童生徒の交通事故の件数につきましては、平成30年度全体で23件でございまして、ここ4年間で最も少ない件数となっております。今後に向けましても、地域、学校、警察等の横断的な協力体制のもと、児童生徒の安全確保、地域防犯の抑止力の一助となるよう、本事業を推進していきたいと考えております。以上、報告とさせていただきます。

(伊藤潔 学校教育部長) 報告は、以上でございます。よろしくをお願いいたします。

(池野和己 教育長) ありがとうございます。ただ今、報告事項につきまして説明をいただきました。委員の皆様の方から、質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。

(内田みどり 委員) 前島るり議員さんから、川崎市での小学校の児童殺傷事件を受けて、ということでの質問の中で、校門の常時閉鎖されているということでご回答いただいているのですけれども、実際のところ学校に行ってみますと、施錠はしておらず閉めているだけ。普通に行っても、開けて入れる状態に実際はなっていると思います。関西の方の学校ですと校舎の方に鍵をかけるということをされているそうです。門だけを閉めていても誰でも入って来れる状態というのは、閉めてあっても閉めてないような状態ではないかなと感じてしまう。校舎の方に施錠するというようなことというのは考え的にいかがでしょうか。ひとつご提案です。

(伊藤潔 学校教育部長) 子どもが中にいる授業中などは、学校によっては、子どもが入った段階で、昇降口のところは内側からでしか掛けられないようなバーのようなものがありまして、夜は必ず下ろしているものですが、内側からバーを下ろして外から開かないようにしています。そのような形の対応をしている学校も中にはあります。或いは休み時間に子どもが入った段階で扉は全部閉める。外から入るには、日常的には事務室など大人がいるところからしか入れられないような状況を作り出している学校もあります。なかなか徹底は出来ていません。

(内田みどり 委員) 裏から開けてしまえば入れる状態です。防犯的にそれで良いのか疑問です。

(伊藤潔 学校教育部長) 今おっしゃったのは昇降口のことでしょうか。昇降口は中からしか下ろせないようになっています。外の門については、昼間は閉めて鍵は掛けずにいます。昼間は業者や保護者が来庁されるので、内側のかんぬきを下ろして、開けようと思えば開けられる状態になっています。施錠まではしていない状態です。

(内田みどり 委員) 皆さん誰でも入っていける状態です。それは防犯上問題ないのでしょうか。校舎の方に鍵を掛けないと防犯的には足りてないのではないかと感じてしまいます。考えてみてはいただけないかなと思います。

(伊藤潔 学校教育部長) 徹底するということでは課題はあると思います。

(内田みどり 委員) よろしく願いいたします。

(大塚崇行 委員) それでは市議会の報告の中で、1ページです。深山議員のコミュニティスクールに関しての質問がありましたが、この一番下のところです。30年度に上尾中学校区で3校で実施し、その成果と課題を生かして昨年度末に研究会を行いましたということですが、具体的な成果と課題というところがどういったところをたてたのかというところを伺わせただけであればと思います。よろしく願います。

(太田光登 指導課長) 成果と課題でございますが、昨年度、地域と共にということのスローガンとして、各学校が地域と共に歩みだしているそういうのが成果として挙げられます。課題としましては学校運営協議会が、その地域と共に進んでいく学校を目指して、順調に各会議が進められているか、そういったところが、今後もしっかり検討委員会等を通して検討していかなければいけないと考えております。

(大塚崇行 委員) ありがとうございます。2点ほどよろしいでしょうか。5ページになります。池野議員の50mプールの誘致についてです。一番下にありますけれども、誘致に向け引き続き埼玉県に働きかけてまいりますとありますが、具体的には場所とか、そういったものは既に選定されているのでしょうか。

(柳川忠明 スポーツ振興課長) 現在埼玉県内にはまだございません屋内の50mプールにつきましては、現在上尾市と川口市が候補地として名前が出ております。交通の利便性ですとか、住宅ですとか環境の状況を見ながら、今後決めていくということになっております。以上でございます。

(大塚崇行 委員) ありがとうございます。最後の1点です。10ページになります。学校給食費の滞納対策ということで、未納対策マニュアルに基づきとものがあるのですが、具体的にどのような形で行っているのでしょうか。

(荒井正美 学校保健課長) 未納対策については、学校組織を挙げて対応するというところで、学級担任だけではなくて、学年主任、そして滞納が長引けば、管理職である教頭先生、又校長先生もしっかり

と対応しながら、粘り強い対応をするというようなものが、このマニュアルに入っております。また、滞納が発生した際、すぐに対応しないとそれが長引いてしまいますので、初期対応の大切さみたいなところもこの中では活用しているところでございます。

(大塚崇行 委員) ありがとうございます。

(小池智司 委員) 橋北議員さんからの質問で4ページです。通学時のヘルメット着用についてということで11校中7校の学校が自転車通学を認めていて、その全てでヘルメット着用をしているということですが、それ以外の部活動の移動でというところで8校が義務化されていますとなっています。多分7校が通学時のヘルメット着用されているので、あと1校が部活動の移動時にヘルメットを着用しているということだと思うんですけども、この部活動の移動時にヘルメットを着用されている1校について、このヘルメットというのは、学校で用意しているものなのか、それとも部活動単位や家庭で用意しているものなのか、部活動で遠征に行ったりとか自転車で大会に行ったりすると思うんですけども、そこら辺はどういう風に学校側では対応されているのでしょうか。

(荒井正美 学校保健課長) 部活動で使用する自転車乗車中のヘルメットについては、原則、個人で負担をして用意をしているものでございます。

(小池智司 委員) もう1点よろしいでしょうか。外国人生徒に対する日本語指導員という方が、現在24名いるということですが、この24名の方というのは、大体どのような方々が、その日本語指導員という形で登録されているのか、教えていただければと思います。

(瀧沢葉子 学務課長) 外国人の指導をしていらっしゃる方は、基本的には指導は日本語で行いますので、特に資格等ございませんが、長く海外でご活躍いただいた方やその言語に精通した方が、ご登録いただいて指導していただいています。

(小池智司 委員) ありがとうございます。

(中野住衣 委員) 小・中学校一斉避難訓練の件です。今年度、天候の状況で、引き渡し訓練が中止ということになりましたが、年1回、引き渡し訓練を実施するということはとても大切なことだと思います。今回中止になりましたけれども、年度内に実施する予定はありますか。

(荒井正美 学校保健課長) 今年度は実施予定はございません。来年度また同じような訓練は計画しておりますが、先程申し上げました通り、原則、現場では災害が起こると、留め置きが基本になりますので、その辺も含めた対応ができないかどうか検討していきたいと考えているところでございます。以上でございます。

(中野住衣 委員) 続いてよろしいでしょうか。避難訓練について課題ですとか検討事項のところにも適切な判断と判断基準というのが出ております。各学校からも反省等が上がってきている中で、今回天候との関係で止む無く中止となった部分がありますが、今後いろいろな声が上がってきたものを集約して、どんな風に適切な判断を行ったり、判断基準をどんな風に設けていったら良いのかということで、何かお考えがまとまってきたのかなということで、もしあればお聞かせ願えればと思います。

(荒井正美 学校保健課長) 現在の中止の判断基準が、台風、暴風、大雨等で、児童生徒保護者等に危険が及ぶ可能性がある場合と、抽象的なで曖昧なところでしたので、これを例えば、事前の天気予報で、局地的な豪雨ですとか、或いは土砂災害や低地の浸水ですとか、河川の増水等の嚴重な警戒の呼びかけのような気象庁の発表、具体的なそういったものがあれば、それを参考に中止をするということと事前に決めたいという風に思います。どこまで危険が及ぶ範囲というのが、なかなか今まで見極めが取れなかったものですから、ある程度の気象庁の発表で、そういった嚴重警戒の呼び掛けがあった場合は、中止をするというような形で考えています。以上です。

(中野住衣 委員) わかりました。ありがとうございました。

(細野宏道 教育長職務代理者) 数点質問をさせていただきます。まず、6月定例市議会で2ページ、3ページ目の「登下校の防犯プラン」について6月中のパトロールマップの作製の依頼となっています。もう7月になっておりますので、各校から上がってきているのかを確認させてください。

(荒井正美 学校保健課長) 各校からマップの方が上がってきております。今ヒアリングということで、各学校に警察の方と私共職員が行って、学校の先生と危険個所の再度の確認をしているところでございます。マップの活用については、警察のパトロールですとか、或いは学校安全パトロールカーのパトロール、それから市の方でも職員が毎日パトロールに行っておりまして、今まで自分が危険と思うところにそれぞれランダムに行っていました。そこをきちんと重点箇所を決めて、効率的に、しっかりと対応するということで今考えております。ルートを作って、今年度中にそこを重点的にパトロールするという形を考えております。

(細野宏道 教育長職務代理者) よろしくお願ひします。つづきまして、15ページです。齋藤議員の質問のところ、ICカードによる在校管理というのがありました。働き方改革というのが叫ばれている一方で、学校の先生方の子供達に対する熱意というものを大変理解しておりますので、先生方が大変遅くまで残っているという実情があると思っています。現実どれぐらいいるのかICカードによる在校時間の管理。いわゆる管理ということではなく現在どれぐらいいるのかということを知るのは大変重要なことだと思います。これは22校プラス11校、全校で行われているのかどうかということを確認したい。

(瀧沢葉子 学務課長) 全校で行われております。

(細野宏道 教育長職務代理者) 更にそれは、どのように行われているのか。委員会の方には報告は上がってくるのでしょうか。

(瀧沢葉子 学務課長) 委員会の方でも全ての学校について見ることができ、どの教員が個別に、何時間超えているかというようなことも把握できるようになっています。

(細野宏道 教育長職務代理者) 分りました。先ずはどれぐらいの実態ということを知る必要が大変重要だと思いますので、是非これは生のデータを集めていただきたいと思っています。よろしくお願ひします。それから一斉避難訓練についてですが、今回、たまたまこの後に、ある校長先生と話を

機会がありました。大変混乱もしましたというのが本当だと思います。ただ、言葉が適切かどうかわかりませんが、恵みの雨とかですね、実際の宮城県沖地震も経験したので、とんでもないものでしたから、1分後にとんでもない地震が来るといふこともありますので、こういう時に大変役に立つ為の訓練だと思いますので、是非今回の課題を生かしていただければなと思います。質問はここからなのですが、通常大きい災害が来たときは留め置きをしますとなっていたと思いますが、その留め置きを解除する時、先ほど荒井課長の方で気象庁のデータを使って、中止の連絡をすることとかと同じように、どのタイミングになったら、留め置きを解除して迎えに来てくださいと、いうのはどういう風になっているのですか。留め置きは分かるのですけれども、それを教えていただければと思います。

**(荒井正美 学校保健課長)** 先ず災害が起こりますと、東日本の大震災の時のように、帰宅困難者が多数生じて、おそらく保護者の方も学校の方に引き取りに来られないという状況が発生すると思います。そうすると一定時間子ども達は学校の教室なり体育館に留め置きになるかと思うのですが、その引き渡しのタイミングというところが、個々に状況が違うので、なかなか難しいと思います。例えば先生方が、学校の地域の周辺の安全確認をして、問題がないと判断できれば、引き渡しも出来るのかなと思います。また保護者の方が、自宅に帰られて子ども達をしっかりと迎えに来るような状況が整えば、その時点で引き渡すということになるのかなと思います。ただ状況によっては宿泊を伴うような動きみたいなのも今後考えられますので、そういったところも念頭に置きながら、訓練の在り方も考えた方が良いのかなと考えております。

**(細野宏道 教育長職務代理者)** よろしくお願ひしたいと思います。エマージェンシーですので、プラン通りには行かないと思うのですけれども、十分いろんなことを検討して、先ず子ども達の安全ということを確認するような施策をよろしくお願ひしたいと思います。最後に、いじめ、不登校に関してです。これは、一般質問でも取り上げた方もいらっしゃいますし、今日の報告事項でもいじめに関しては何件ですということがありました。ですから何々についてということではなくて両方、包括してです。先ずいじめについてですが、この教育委員室にも掲示されています「小学生の誓い」であったり、「中学生宣言」ということで、いじめに対しては、いかに見える化をするかということ、アンケートを取ったり、いろんなことをやってきていると思います。それからいじめに対する定義というのが変わって、件数が増えてきたというのは、理解はするんですけれども、そのいじめに対して、最近件数が増えているのが、昔の捉え方と違ったからということだけで増えているということがないかどうか、というのを改めて質問をさせていただきたいのですけれども、先ずいじめに関しては、それはどうですか。

**(太田光登 指導課長)** 捉え方の違いとしては、以前と違ひまして、被害を受けている方の子どもの痛み、苦しみ、そちらの方を中心に判断するようになっておりますので、以前だったら、単なるトラブルであったものについても、積極的にいじめと認知するようになっておりますので、かなり多くなってきているところが、現状だと思っております。

**(細野宏道 教育長職務代理者)** ありがとうございます。僕はいじめに関しては、いろんな施策を打っているのですが、件数だけではなくて、徐々に徐々に、おそらく解消していく方向に、学校、教育委員会も進んでいると感じておりますので、是非引き続き手綱を緩めないで、よろしくお願ひしたいと思います。最後ですけれども、一般質問でもありましたが、不登校についてです。実は私、不登校というのは個々の問題が随分あるのかなという風に思っていたんですけれども、上尾市教育委員会として、未

然防止の観点からとか、それから初期対応の観点から、そういった観点のマニュアルというものは、いわゆる県とか、文科省とかはあるんですけども、上尾市としては、不登校に関するマニュアルというのはどれぐらい整備をされているんでしょうかというのをお聞かせ願いたいと思います。不登校を生まないためには、何が重要であるとかということですね。

(太田光登 指導課長) 欠席日数、それから遅刻等が増えている子に対して、適切に、丁寧に対応するというようなことが基本的な、未然防止に関わることになると思います。初期対応マニュアルについては、県等の資料を各学校に配布して対応しております。

(細野宏道 教育長職務代理者) 今お答えいただいたのですが、それだとちょっと弱いのかなという風に思っています。30日という定義があるんですけども、その前に、ある程度欠席が続いた子ども、それとか欠席まで至らないまでも、保健室登校されている児童、等々の初期対応の前に、じゃあ何故そうなるのかというような、居場所づくりであったり、個々の有用感であったりをどう醸成していくかということで、上尾市としてはこういうことなんですよ、いわゆるその初期対応の前の段階で、子ども達や児童生徒に、こういうことで不登校にならないようにやりましょうよというものが必要なのではないかなという風に思っているんですけども、是非いろんなところのマニュアルを参考にして、上尾市の現状に合わせたものを作成することを検討していただければなという風に思います。以上です。

(中野住衣 委員) いじめに関して質問させてください。先程いじめに関する状況ということで報告をいただきました。数字を見ると、積極的に認知をした数として、また、丁寧に個々のケースについて取り組んでいる状況があることは理解できます。ただ、やはりこの表を見ると、解消に至らないで解消に向けて取組中というケースが多いのが気になります。3か月は学校が体制を組んで、苦しんでいる子どもに寄り添って丁寧に見守りをしていくということですが、3か月を過ぎても長期化して解消に至らない多くのケースの場合、私は解決が大変難しいのではないかと思います。このような長期化しているケースというのはどういう状況の場合であるのかということが1点、もうひとつは、そうなった場合の学校の対応、指導方法を模索しながらの取組になるのでしょうか、どのような方法があるのか、何かありましたら教えていただけますか。よろしく願いいたします。

(太田光登 指導課長) 確かに指導課としても、解消に向けて取り組み中が多いことは、気になっておるところであります。実際解消しているにもかかわらず、解消報告がされていない例もありました。実際に今年度になっても、前年度のもので解消していたものが、今上がってきているというのもございました。それ以外の長期化しているものについては、やはり保護者等から、もう少し見守っていて貰いたいと、今いじめの状態に無いというのは、子どもも、保護者の方も理解をしているけれども、もう少し見守っていただきたいということで、そのまま引き続き見守っている例で、実際に本人が苦しんでいる事象が続いているというものはございません。そういったところでこの解消は速やかに解消報告を、3カ月の見守りはあるんですが、それ以降解消した場合については速やかに解消報告を提出するように学校には求めているところであります。以上です。

(中野住衣 委員) もうひとつ教えていただきたいことがあります。一般質問の中でもいじめに関して取り上げているところがありました。上尾市でも様々な取り組みをいじめ対策として行っていますが、今年の2月に、生徒指導主任を集めて「いじめを考える授業研究協議会」という新たな取り組みを開

催したというのが質問に上がっていました。これはどんな授業だったのか、もし分かることがあれば教えていただいて、生徒指導の先生方がこの授業を見た後どんな協議がなされたのか何か分かったら教えてください。

(瀧沢葉子 学務課長) 私が昨年度見ておりましたのでお答えいたします。富士見小学校の6年生を対象とした道徳の授業で、いじめを題材とした教材を使っただけの授業でありました。2つの題材が出され、それについて子ども達がいじめはいけないということは分かっている。けれども何故出来ないのか、何故止められないのかということに率直に話し合った、大変深まりのある授業でありました。その後小中学校の生徒指導主任が集まりましたので、生徒指導の観点からも、やはり分かっているけれども何故止められないのかというようなことをどのようにしたら子ども達に率直に考えさせ、どういう風な授業で、道徳の授業もそうですし、学校全体で、頭ではわかっているけれども止められないことについてどういう取り組みをしていくのか、かなり深まった議論がなされました。中学校の方では、それに基づいて、生徒自身が、生徒総会などで取り上げて考えていくなどの、一歩進んだ話し合いがなされましたし、道徳の授業そのものも題目を理解するだけではなく子ども達にいかに関心させるか、というようなところで議論が深まっております。

(中野住衣 委員) ありがとうございます。今朝もテレビで、いじめでご自身の息子さんが深刻に悩み、不登校になってしまったというようなケースで、父親が万策尽きて、そのつらい思い、息子さんに対する思い等をSNSでメッセージとして公開したということが番組で取り上げられていました。気になってしばらくテレビを見ていましたが、親としては学校に任せるしかない、子ども達自身に変わってもらうしかないということを切に訴えておりました。私も見ていて気持ちがつらくなるような朝の一時だったのですが、本市でも、学校や先生方が色々な取組を行っているところです。ぜひ、このような取組が何か子ども達に還元され、いじめをなくす方向に波及していくと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございます。

(池野和己 教育長) 他にございますか。よろしいでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

(池野和己 教育長) ありがとうございます。それでは、報告につきましてはこれで終了したいと思います。

## **日程第6 今後の日程報告**

(池野和己 教育長) 続いて「日程第6 今後の日程報告」をお願いいたします。

(森泉洋二 教育総務課長) それでは、8月の日程について申し上げます。8月3日土曜日は、第24回 あげお花火大会が開催される予定でございます。8月22日木曜日は、午前9時30分から8月定例教育委員会の開催予定となっております。日程につきましては、以上でございます。

(池野和己 教育長) ありがとうございます。それでは日程報告については終了したいと思います。では、委員の皆様からここで全体を通して何かございましたらお願いいたします。

～委員全員から「なし」の声～

(池野和己 教育長) よろしいでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

## **日程第7 閉会の宣告**

(池野和己 教育長) ありがとうございました。それでは、本日予定されておりました日程は以上すべて終了いたしました。これをもちまして、上尾市教育委員会7月定例会を閉会いたします。たいへんお疲れ様でございました。

令和1年8月22日 署名委員 大塚 崇 行